



たけはな ゆい 議員 竹花 結

問 クマ対策への対応は

答 更なる安全対策を検討

町内のクマ出没状況と被害件数

	出没件数	被害件数
5年度	25	56
6年度	16	35
7年度	51	86

※7年度は1月8日時点での件数

町でも農地、町道沿いなど、生活圏に隣接した場所での目撃情報が多く寄せられており、四日市地区、新町地区、田代地区など、町中心部における出没や目撃情報が例年より多い状況となっている。

議員 生活圏での出没事例の有無は。

クマの出没状況は



クマによるラップサイレージの被害

対策の内容と効果

議員 実施しているクマ対策の内容と効果は。

町長 広報6月号に特集記事を掲載したほか、日常生活におけるクマに対する注意点を記載したチラシを、10月と11月の2回全戸配布し注意喚起を図ってきた。

藪の刈払い整備はクマを人里へ近づけさせないための環境整備として必要であるが、場所の選定、土地所有者との調整など実施に向けた課題の整理が必要であるため、環境整備についても検討を進めていきたい。



町内に出没したクマ

高齢者の生活圏においては、地域包括支援センターや民生委員の皆さん等と情報共有を図り、訪問活動時に呼びかけを行うなど相互の見守りによる注意喚起を強化していきたい。

今後の安全対策強化

議員 通学路や高齢者の生活圏における見守り体制の強化は。

町長 通学路付近でクマの出没情報があった際には、速やかに教育委員会と情報共有し児童生徒の安全確保に努めているほか、警察とも連携し登下校時の見回り巡回を強化している。

議員 猟友会や警察との連携強化、緊急銃猟体制の整備は。
町長 クマ対策の専門家である町猟友会と治安維持を担う警察との連携は不可欠であり、緊急時の対応手順はもとより、定期的な情報交換、クマ出没情報の共有、対策区域の確認など平時における準備を万全にしていきたい。
緊急銃猟は9月1日から法律の改正により、人の生活圏に危険鳥獣が侵入する恐れがある場合など、一定の条件のもと、市町村長の判断で銃猟による緊急捕獲が可能となった。
制度改正以降、緊急銃猟に該当する事案は無いが、いつ発生しても即時に対応できるように、マニュアルの整備や緊急銃猟のための盾やヘルメット等の備品の整備を進める予定である。



あねたい はるじ 議員 姉帯 春治

問 松くい虫の被害と対策は

答 関係機関と連携して対応

※松くい虫被害とは

…正式名称は「マツ材線虫病」であり、「マツノザイセンチュウ」という体長約1ミリメートルの線虫によって松が枯れる伝染病。

マツノザイセンチュウが寄生したマツノマダラカミキリが松の枝の皮を食べた際、その傷口から線虫が進入して松の組織が破壊され、松が水を吸えなくなるにより、枯れてしまう。線虫自体は木から木へ移動することはできないが、線虫に寄生されたマツノマダラカミキリが飛翔分散して周囲の松に線虫を運ぶことで感染し、被害が拡大していく仕組みとなっている。

議員 アカマツの松くい虫被害の状況は。
町長 7月に情報提供があり、同日県へ報告した。9月に松くい虫被害と確認され、現在明確に感染が確認されているのはこの冬部地区の1本のみである。
その後、くずまきテレビ等で情報提供を呼び掛けたところ、他地区で被害の疑いのある木があると報告を受けている。
現在、県に調査を依頼しており、調査結果は年明けに出る予定である。

町内の被害状況は

議員 被害木はいつ伐採する予定か。

町長 松くい虫の被害木は、マツノマダラカミキリの活動が収まる概ね10月以降から、羽化脱出する6月までの間に被害木を駆除するよう県から指導されている。
また、駆除にあたっては、岩手県松くい虫等防除技術専門員のいる業者に委託して行うこととされている。

現在調査中である被害が疑われるアカマツの結果を待ち、被害が確定したのち、駆除作業を実施したい。



松くい虫被害の疑いがある木



議員 今後の松くい虫対策は。
町長 松くい虫の防除は、当町のみで対策を講じても近隣市町村での感染が収まらなければ被害が再発生する恐れがあるため、県や近隣市町村、関係団体等と連携を密にし、発生抑制、早期発見、早期駆除に取り組み、広域的な感染防止対策を検討していく。
併せて、松くい虫被害は雪害木や風倒木など、弱ったマツが感染しやすいと言われているため、定期的な山林巡視を行いながら、適期、適正な除

間伐が実施されることが重要であることから、森林組合、森林所有者の皆さんのご協力を得ながら、対策を講じていく。

町民等への情報提供

議員 町民や森林所有者への情報提供は。
町長 町では松くい虫発生

の情報提供を受けくずまきテレビ等で被害発生のお知らせと感染が疑わしい木について情報提供をお願いする呼びかけを行った。
今後も予防対策など周知しながら被害拡大防止に努める。



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 ワクチン接種の対応は

答 火曜日以外も対応

予防接種の実施状況
議員 毎週火曜日のコロナ・インフルエンザワクチン接種の混雑時における今後の病院の対応は。
町長 今年度のインフルエンザの流行などの状況を踏まえ、病院内と関係課との協議により、原則月曜日から金曜日の午後4時までの受付で予防接種、診療の対応をしている。

種を受けることが出来ないと誤ったイメージで受け止められている方が中にはおり、毎週火曜日の夕方に予防接種の希望者が集中し、混雑しているとの報告も受けている。
改めて、葛巻病院での予防接種については、火曜日を除く診療日に午後4時までの受付で予約が無くても予防接種を受けることができ、12月23日までは、毎週火曜日に限り予防接種は午後6時までの受付を延長し対応している。

町の予防接種助成

*1月31日までの接種が対象

◆対象者

- ①高齢者など
・65歳以上の方
・60歳から64歳で身障手帳1級の方
②子ども、その保護者など
・0歳から高校3年生まで
・1歳未満の子どもの保護者

◆助成額

- ・インフルエンザ 3,000円
(2回接種の子どもは5,500円)
・新型コロナウイルス 13,500円
(2回接種の子どもは26,500円)

※子ども、その保護者には、くずまき商品券で助成



ワクチン予防接種



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 新年度一般会計予算規模は

答 現時点で70億円規模に

諸物価上昇に伴う官公需に価格転嫁
議員 8年度一般会計当初予算規模と主な新規事業の見通しは。
町長 予算編成方針の中での試算では、約70億円程度を見込んでいます。7年度対比で2億円の増加となるが、人件費、公債費の増に加え物価上昇に伴い官公需に適切な価格転嫁が必要となる。

自主財源比率向上策
議員 当町の自主財源比率は25割、県平均を大きく下回っている。その向上対応策は。
町長 地方自治の根幹をなす自主財源は税金であり、その確保が最も重要と認識している。ふるさと納税制度の拡充による寄付金の確保、効率的な運用による町有財産の財産収入など多面的な対策を講じながら自主財源の確保を図る。

主要4基金の活用策
議員 6年度末基金残高は、60億6000万円となっておりが、有効活用策と今後の見通しは。
町長 財政調整基金は社会情勢の変化や自然災害など不測の事態に備える財源として、標準財政規模の2割を、町債減債基金は起債残高の減少と将来負担軽減策の繰り上げ償還の財源として、地方債借入残高の10割を目安に積み立てている。地域づくり振興基金は人口減少対策や地方創生事業等の財源として、基金を取り崩して活用するとともに剰余金を積み立てている。

北・北道路の進捗状況
議員 北岩手・北三陸横断広域道路(北・北道路)整備に係る進捗状況と今後の見通しは。
町長 平成30年に期成同盟会設立以降、総会・決起集会開催のほか、国・県を始め国会議員、県議会議員等に要望活動を展開している。3年6月に県が策定した新広域道路交通ビジョンと新広域道路交通計画で、北・北道路が構想路線に位置づけられ、4年度から調査業務に着手。6年度には県との意見交換で本路線整備の優先区間として「小屋瀬く茶屋場」間が設定された。今年9月の意見交換で優先区間のうち、渋谷地から九蔵坂を結ぶ「仮称・小屋瀬道路」の予備設計に入るとの説明があり、翌月設計業務の委託契約が完了している。今後の整備見通しは優先区間の一部予備設計業務発注済み等から今後の本格事業化に向け大きな期待を寄せている。



期成同盟会総会・決起集会